

I 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

1. 教員養成に対する理念、養成する教員像

本学の建学精神は、「愛真教育」を基盤とした『自由・自主・自律・個性尊重の人間教育』にあります。この理念に基づき、

- ①豊かな知と健やかな心を育てる人間教育
- ②社会に貢献できる豊かな人間力と実能力的な能力を持った人材の育成
- ③自主的に学ぶことのできる教学環境の整備と学生の個性の伸長

を学生教育の目標と定めています。

また、あらゆる教育活動を通じた学生の成長を、人格的な成長を含む総合的人間力の向上と捉え、一人ひとりの学生を把握・支援し、

- ㊦主体的・積極的に行動する力
- ㊧課題を発見し、考え抜く力
- ㊨他者の意見に耳を傾け、協調して物事をすすめる力

を備えた人材の養成を目指しています。

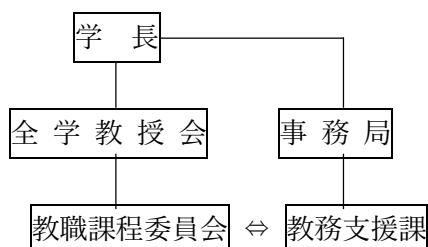
人間生活学部においては、教育職員免許法に定める所定の単位を修得し、学士の学位（人間生活学）を取得すれば、『栄養教諭一種免許（栄養士取得・管理栄養士養成課程修了が必須要件）』、『中・高一種免許（家庭）』が取得可能です。

現代社会学部においては同じく学士の学位（現代社会学）を取得すれば、『高一種免許（情報）』『高一種免許（公民）』が取得可能です。

II 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

1. 教員養成に係る組織

組織図添付



組織の概要

教務支援課、教職課程委員会を組織し、大学全体の教職に係る事項を協議しています。各学科における教員養成については、教職課程委員会を中心に、学科教員が共通理解のもと指導に当たっています。

教職課程委員会は、教授会の下に設置されており、食物栄養学科及び人間生活学科、現代社会学科、放送・メディア映像学科の教職に関する科目を担当する教員と教務支援課から構成されています。

審議項目は、教職課程の運営、教職指導、実習規程の運用調整、教育実習の連絡調整等に関する事項です。実際には、教職科目や担当者の変更、教育実習に出すための条件等を審議しています。

食物栄養学科（入学定員 70 名）栄養教諭一種免許状 人間生活学科（入学定員 40 名）高校家庭科一種免許状・中学家庭科一種免許状 現代社会学科（入学定員 20 名）高校公民科一種免許 放送・メディア映像学科（入学定員 60 名）高校情報科一種免許 合計 190 名

2. 各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目 各教員が有する学位及び研究業績並びに担当する授業科目については、本学ウェブサイトの「教員一覧」を参照ください。

Ⅲ 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること
履修一覧表

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する授業科目	家庭科		栄養	公民	情報	備考
科目	各教科に含める必要事項		中	高		高	高	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	◎	◎	◎	◎	◎	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	◎	◎	◎	◎	◎	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	◎	◎	◎	◎	◎	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	◎	◎	◎	◎	◎	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	◎	◎	◎	◎	◎	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	◎	◎	◎	◎	◎	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	◎					
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間及び特別活動の指導法	◎	◎	◎	◎	◎	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法論	◎	◎	◎	◎	◎	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の基礎	◎	◎	◎	◎	◎	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導論	◎	◎		◎	◎	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導(中・高) 教育実習Ⅰ(高) 教育実習Ⅱ(中・高) 栄養教育実習指導 栄養教育実習	◎ ◎	◎ ◎	 ◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	
	学校体験活動							
	教職実践演習	教職実践演習(中・高) 教職実践演習(高) 教職実践演習(栄養)	◎	◎	 ◎	◎	◎	

※◎は必修科目

【家庭に関する科目】

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する授業科目	家庭科		備考
		中	高	
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	ライフマネジメント論	◎	◎	
	ライフマネジメント実習	◎	◎	
	家族関係学	◎	◎	
	生活と経済	◎	◎	
	ライフコース論	○	○	
被服学（被服製作実習を含む。）	衣生活論	◎	◎	
	アパレル素材論	○	○	
	アパレル実習Ⅰ	◎	◎	
食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	食生活論	○	○	
	食品学Ⅰ	◎	◎	
	栄養と健康	◎	◎	
	調理実習 基礎	◎	◎	
	調理実習 応用	◎	◎	
住居学（製図を含む。）	住居学概論（製図を含む）	◎	◎	
	住居学実習	○	○	
保育学（実習及び家庭看護を含む。）	現代子育て論	○	○	
	保育学	◎	◎	
	介護概論		◎	
家庭電器・気化器及び情報処理	家庭電器・機械		◎	高一種のみ必修
教科の指導法に関する科目	家庭科教育法Ⅰ	◎	◎	
	家庭科教育法Ⅱ	◎	○	
	家庭科教育法Ⅲ	◎	◎	
	家庭科教育法Ⅳ	◎	○	

※◎は必修科目

【栄養に関する科目】

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する授業科目	栄養	備考
・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活にかんする歴史的及び文化的事項	学校食教育論Ⅰ	◎	
・食に関するしどうの方法に関する事項	学校食教育論Ⅱ	◎	

※◎は必修科目

【公民に関する科目】

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する授業科目	公民	備考
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法律学Ⅰ 法律学Ⅱ 民法Ⅰ 民法Ⅱ 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 国際関係論	<input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>	
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 社会調査論 地域研究C 地域研究D 経済学入門 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 企業経済学 中小企業論 アジア経済論Ⅰ アジア経済論Ⅱ 観光経済論	<input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学 倫理学 心理学	<input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>	
教科の指導法に関する科目	公民科教育法Ⅰ 公民科教育法Ⅱ	<input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>	

※◎は必修科目

【情報に関する科目】

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する授業科目	情報	備考
情報社会及び情報倫理	情報倫理 知識社会論	◎ ○	
コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	プログラミング実習Ⅰ プログラミング実習Ⅱ 情報処理入門 コンピュータシステム概論 ソフトウェア工学概論 経営情報概論	◎ ◎ ○ ◎ ◎ ○	
情報システム（実習を含む。）	アプリケーション演習 A アプリケーション演習 B データベース基礎 データベース応用	○ ○ ◎ ◎	
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	情報ネットワーク論 情報ネットワーク演習Ⅰ 情報ネットワーク演習Ⅱ	◎ ◎ ○	
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	CG 実習Ⅰ CG 実習Ⅱ Web デザインⅠ Web デザインⅡ Web デザインⅢ 映像デザイン論 プレゼンテーション技法	◎ ○ ◎ ○ ○ ◎ ○	
情報と職業	情報と職業	◎	
教科の指導法に関する科目	情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ	◎ ◎	

※◎は必修科目

【66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する授業科目	66 条	備考
日本国憲法	日本国憲法	◎	
体育	スポーツと健康 運動生理学 スポーツ実習 A スポーツ実習 B	○ ○ ○ ○	選択必修
外国語コミュニケーション	入門英会話 I 入門英会話 II 実用英会話 I 実用英会話 II	○ ○ ○ ○	選択必修
情報機器の操作	コンピュータ基礎演習 I コンピュータ基礎演習 II コンピュータ応用演習 I コンピュータ応用演習 II	○ ○ ○ ○	選択必修

※◎は必修科目

授業内容・授業計画等については、Web シラバスを参照ください

IV 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

学科	免許	2017 年度	2018 年度	2019 年度
人間生活学科	中学校家庭科一種免許状	3 人	6 名	7 名
人間生活学科	高等学校家庭科一種免許状	3 人	6 名	7 名
食物栄養学科	栄養教諭一種免許状	6 人	5 名	1 名
現代社会学科	高等学校公民科一種免許	2 人	1 名	4 名
放送・メディア映像学科	高等学校情報科一種免許	0 人	2 名	2 名

※科目等履修生の免許状も含んでいます

V 卒業者の教員への就職の状況に関すること

学科	2017 年度	2018 年度	2019 年度
人間生活学科	2 人	1 名	4 名
食物栄養学科	0 人	1 名	0 名
現代社会学科	0 人	0 名	0 名
放送・メディア映像学科	0 人	0 名	0 名

※科目等履修生の就職、及び非常勤採用も含む。

VI 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

- ・学科別で教職課程履修ガイダンスを行い、詳しく説明を行う。
- ・年間を通じて教員採用試験対策講座を行い、継続的な学習を実施する。
- ・教員間で学生の情報を共有し、全学的に支える体制をとっています。
- ・授業などで、教育現場における体験的な学習を支援。
- ・教員免許状更新講習を実施し大学全体の教育体制の充実・質の向上を行う。
- ・ホームカミングデーを実施し、現任教員と学生の交流機会を持つ。